

鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和7年3月27日(木)
感染症対策センター
(衛生環境研究所)

令和7年第6週から第9週までの患者報告の状況

1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(6週～9週)4週 (R7.2.3～R7.3.2)	前回(2週～5週)4週 (R7.1.6～R7.2.2)	前々回(50週～1週)4週 (R6.12.9～R7.1.5)
1 新型コロナウイルス感染症 (765) [↓ 79]	1 インフルエンザ (1,798)	1 インフルエンザ (4,173)
2 感染性胃腸炎 (409) [↑ 97]	2 新型コロナウイルス感染症 (844)	2 新型コロナウイルス感染症 (612)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (268) [↓ 13]	3 感染性胃腸炎 (312)	3 感染性胃腸炎 (365)
4 インフルエンザ (138) [↓ 1,660]	4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (281)	4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (201)
5 RSウイルス感染症 (55) [↑ 45]	5 伝染性紅斑 (42)	5 伝染性紅斑 (47)
6 その他 (84) [↓ 1]	6 その他 (85)	6 その他 (121)
(合計 1,719)	(合計 3,362)	(合計 5,519)

※[]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

2 前回との比較増減

全体の報告数は1,719件であり、49%(1,643件)の減となった。

増加した疾病		減少した疾病	
RSウイルス感染症	450%	インフルエンザ	92%
感染性胃腸炎	31%	伝染性紅斑	40%
		新型コロナウイルス感染症	9%
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5%

3 コメント

【新型コロナウイルス感染症】

一定数の患者報告が続いており、集団感染事例も頻発しているため、注意が必要です。手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

県内全域に警報を発令しています。手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

また、まれにA、B、G群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行することがある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が全国で増加しています。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合がありますため、土に触れた手などの不潔な手で直接傷口を触らないなど、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

【感染性胃腸炎】

感染者数が増加しており、注意が必要です。ノロウイルスを原因とする食中毒も複数確認されており、原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。感染した人の便や吐物を処理する場合には、ゴム手袋やマスクを着用し、処理後の床や感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤を使用して消毒しましょう。

【百日咳】

小中学生を中心に患者報告が続いており、西部地区での感染者数が増加しています。長く続く咳が特徴で、感染力が非常に強いため、注意が必要です。有効な予防法は予防接種であり、乳幼児期に定期接種を受けることが重要ですが、ワクチンの免疫効果は4～12年で弱まってくるといわれており、接種済みの方でも感染することがあります。ワクチン未接種の新生児や早期乳児が感染すると重症化しやすいため、赤ちゃんや妊産婦のおられるご家庭では、周囲の家族などが感染源とならないよう特に注意してください。咳などの症状がある場合は早めに受診し、手洗い、マスクの着用、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

【梅毒】

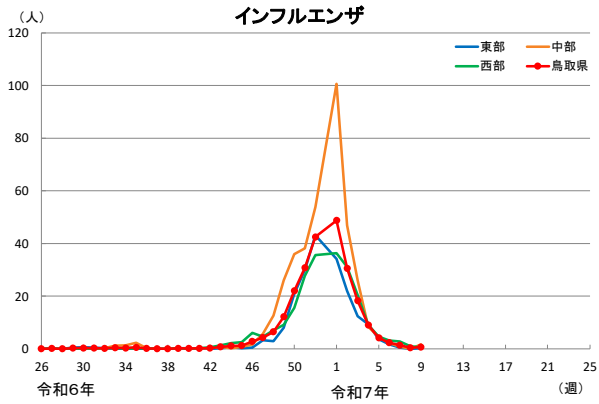
令和6年は過去最多の41件、令和7年2月時点で11件の感染が報告されており、引き続き注意が必要です。感染した場合は、適切な治療が必要であり、早期発見することで感染症拡大防止につながります。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

令和7年第6週～第9週の報告患者数

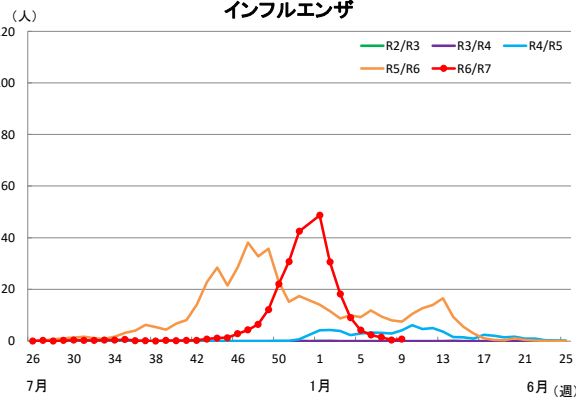
令和7年3月5日 作成

区 分	今回報告患者数 第6週～第9週(4週分)					前回報告患者数 第2週～第5週(4週分)				前々回報告患者数 第50週～第1週(4週分)				前回比 増 減	令和7年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	28	28	82	138	-1,660	568	514	716	1,798	1,535	1,372	1,266	4,173	-92%	3,349
2 新型コロナウイルス感染症	192	126	447	765	-79	212	236	396	844	175	198	239	612	-9%	1,846
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	10	3	7	20	-2	1	13	8	22	1	11	9	21	-9%	43
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	183	44	41	268	-13	169	60	52	281	142	17	42	201	-5%	560
5 感染性胃腸炎	165	123	121	409	97	153	73	86	312	148	106	111	365	31%	752
6 水痘	6	4	0	10	-1	7	2	2	11	12	7	4	23	-9%	24
7 手足口病	0	2	0	2	-7	1	7	1	9	11	0	10	21	-78%	12
8 伝染性紅斑	7	1	17	25	-17	3	0	39	42	5	0	42	47	-40%	71
9 突発性発疹	2	4	7	13	2	5	0	6	11	1	3	6	10	18%	24
10 ヘルパンギーナ	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2
11 流行性耳下腺炎	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1
12 RSウイルス感染症	16	2	37	55	45	4	1	5	10	0	1	1	2	450%	65
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
14 流行性角結膜炎	0	0	0	0	-4	1	3	0	4	3	2	0	5	-100%	4
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0%	2
16 無菌性髄膜炎	3	0	0	3	2	1	0	0	1	1	0	1	2	200%	4
17 マイコプラズマ肺炎	4	2	1	7	-8	11	3	1	15	16	15	5	36	-53%	29
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	-1	0	1	0	1	0	1	0	1	-100%	1
合 計	616	341	762	1,719	-1,643	1,137	913	1,312	3,362	2,050	1,733	1,736	5,519	-49%	6,789

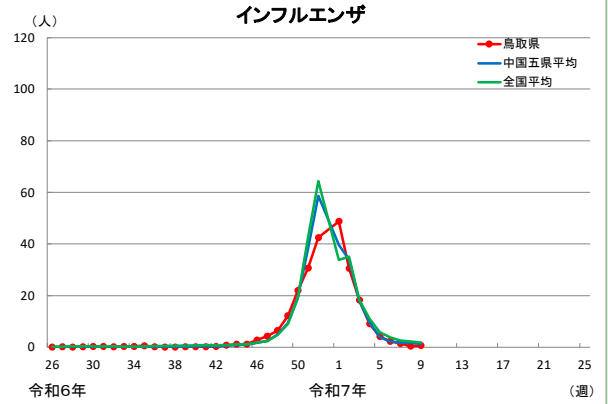
地区別発生状況(定点当たり)



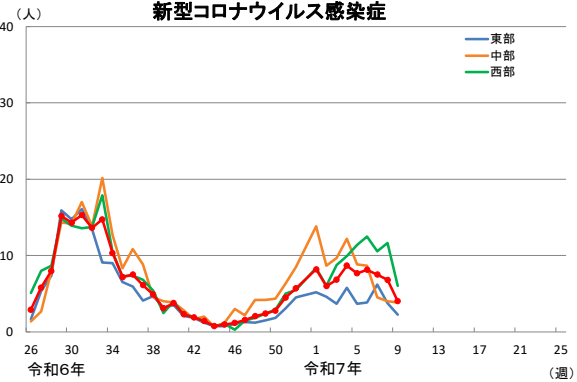
年次別発生状況(定点当たり)



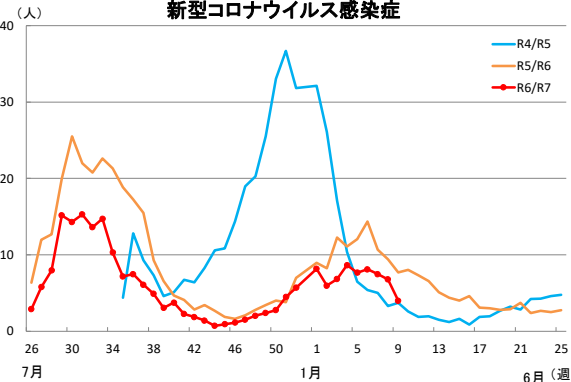
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



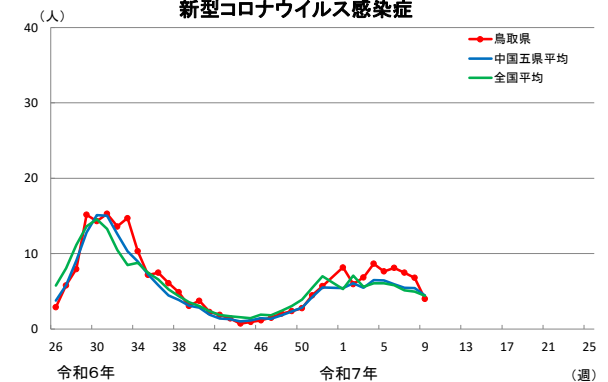
新型コロナウイルス感染症



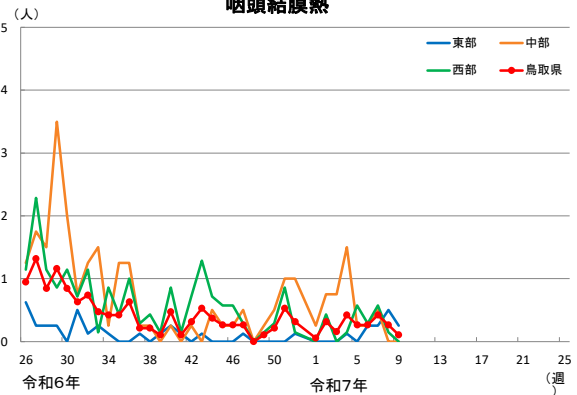
新型コロナウイルス感染症



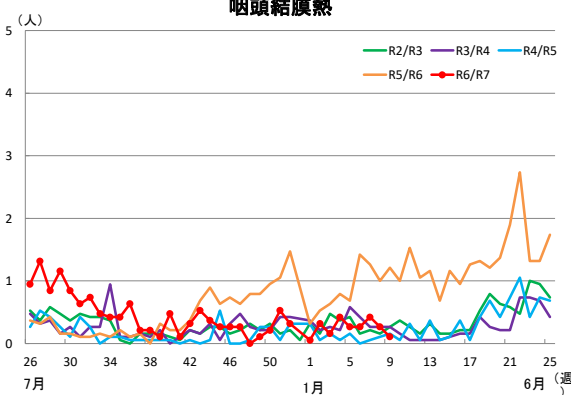
新型コロナウイルス感染症



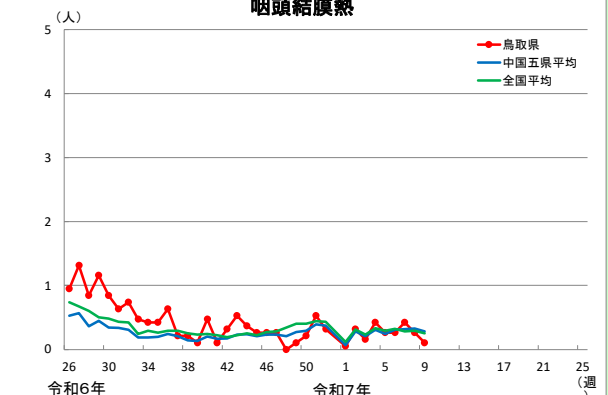
咽頭結膜熱



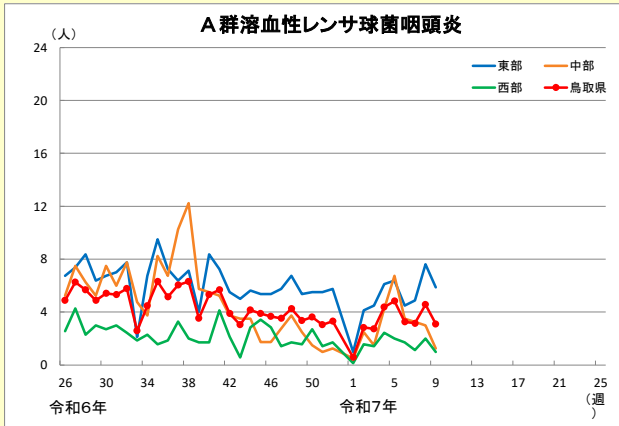
咽頭結膜熱



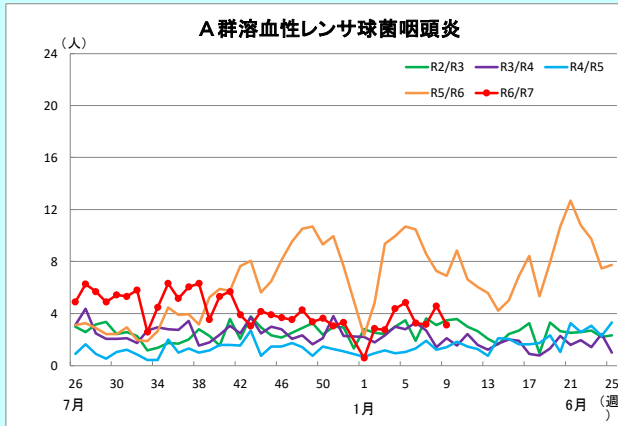
咽頭結膜熱



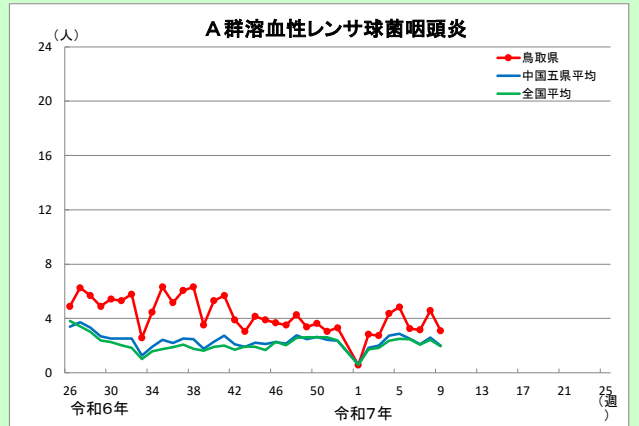
地区別発生状況(定点当たり)



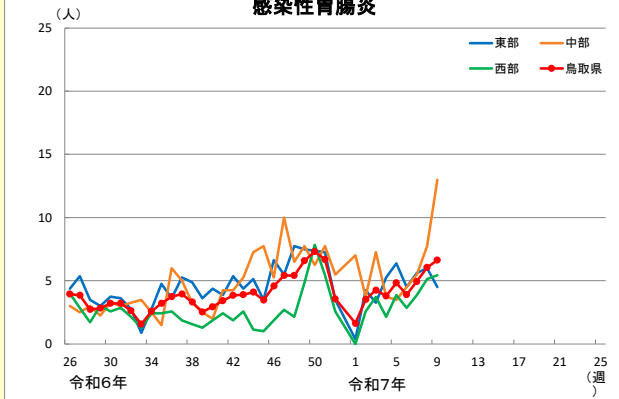
年次別発生状況(定点当たり)



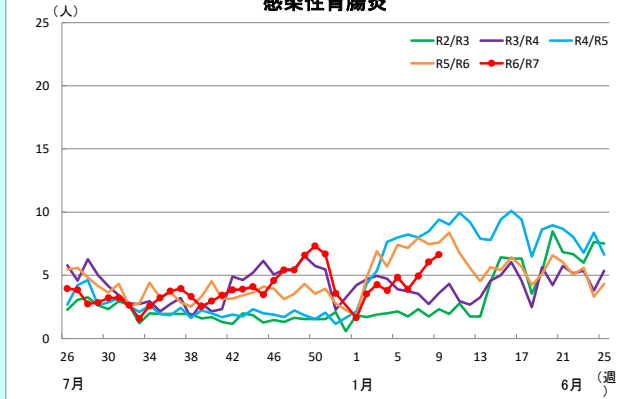
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



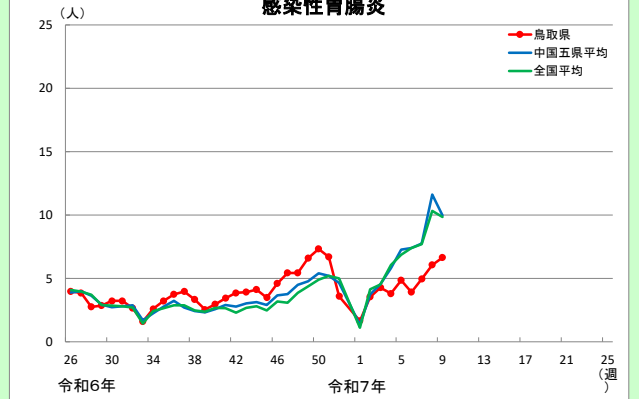
感染性胃腸炎



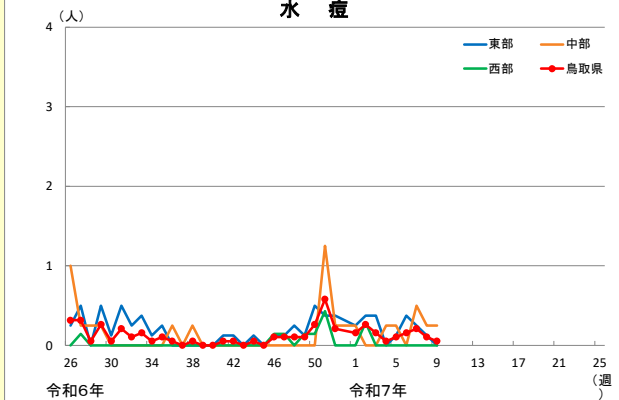
感染性胃腸炎



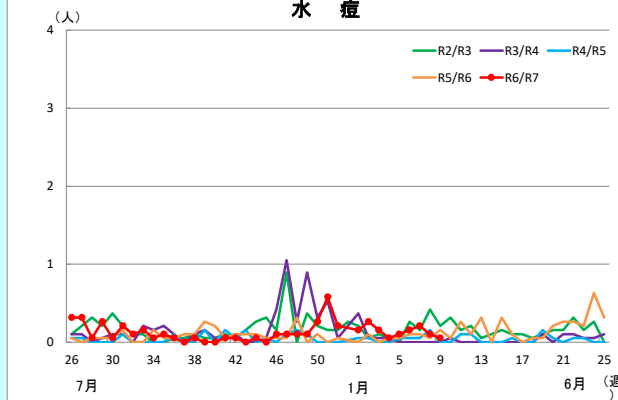
感染性胃腸炎



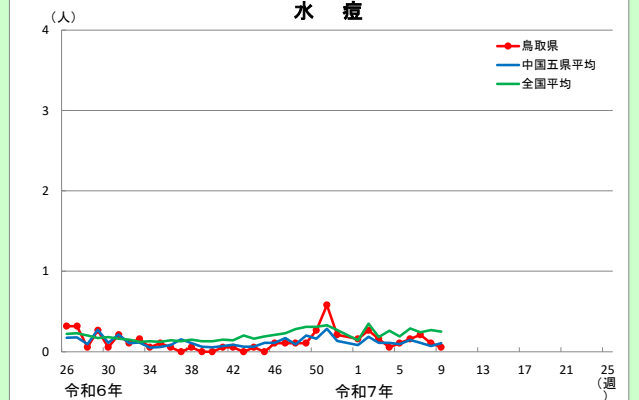
水痘



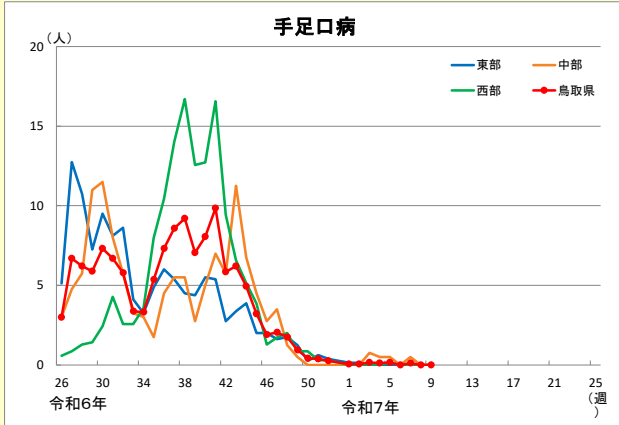
水痘



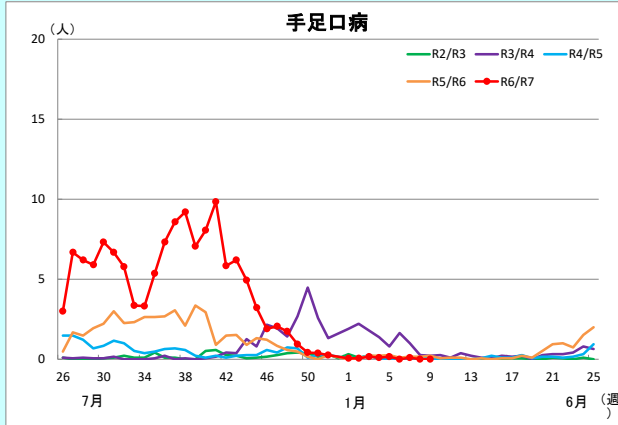
水痘



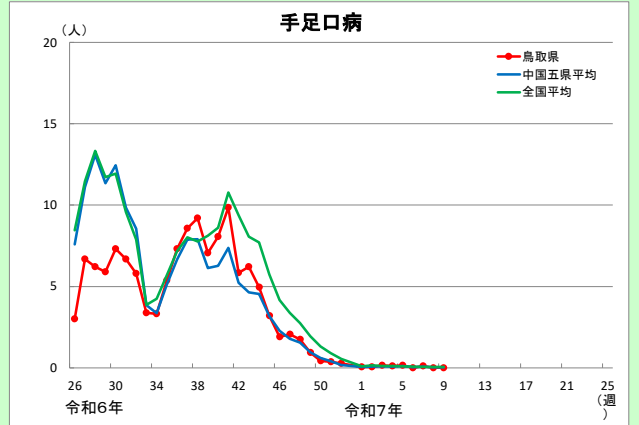
地区別発生状況(定点当たり)



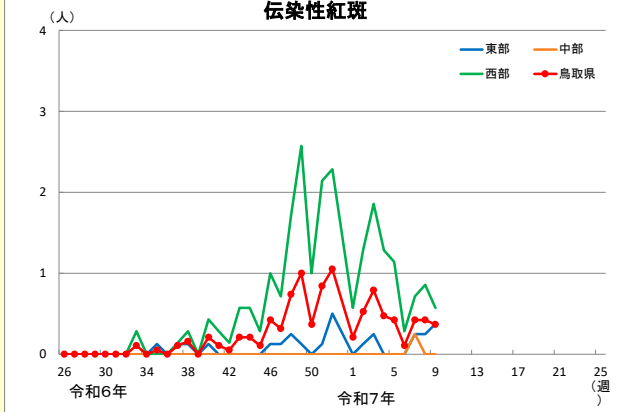
年次別発生状況(定点当たり)



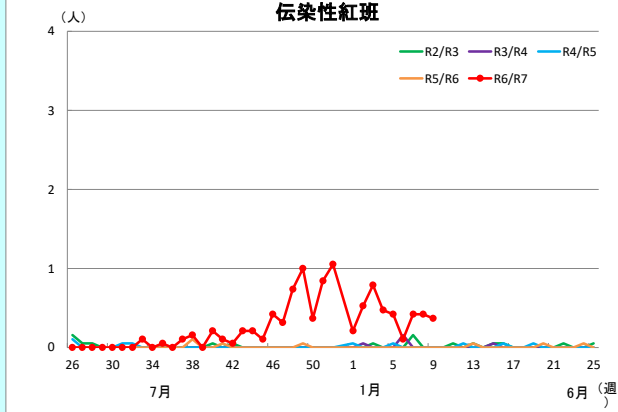
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



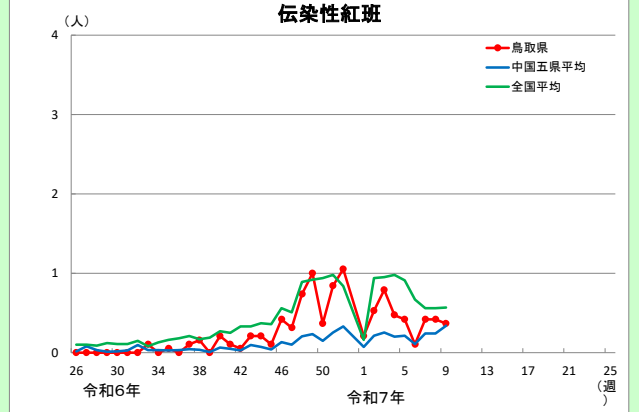
伝染性紅斑



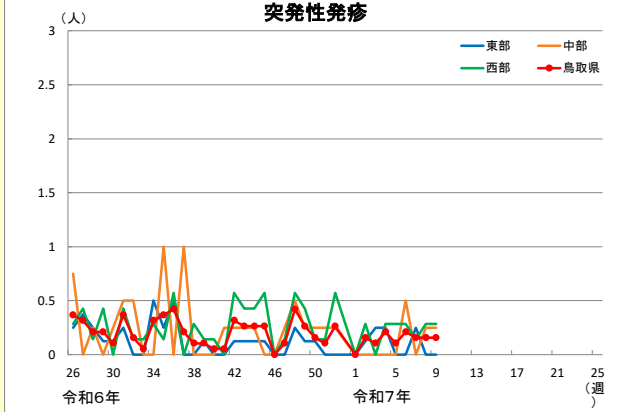
伝染性紅斑



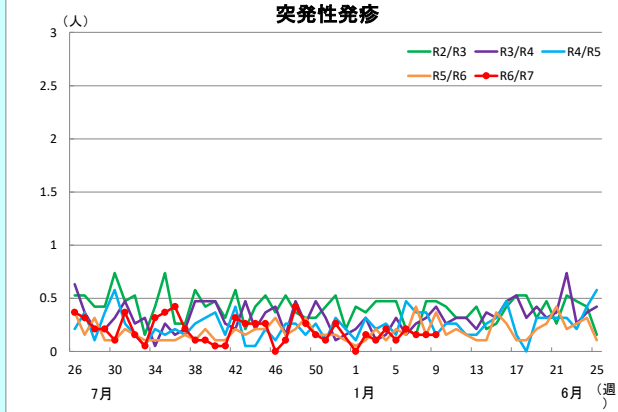
伝染性紅斑



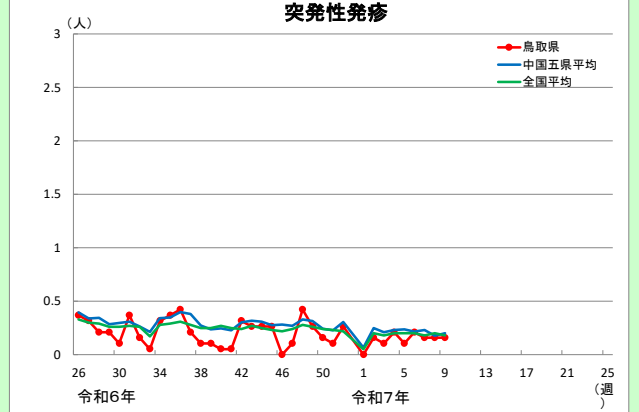
突発性発疹



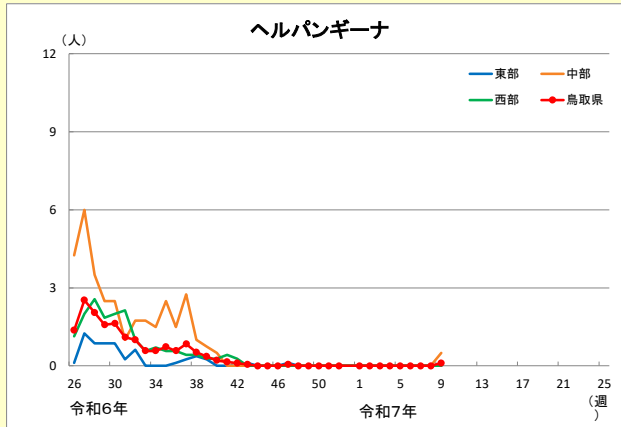
突発性発疹



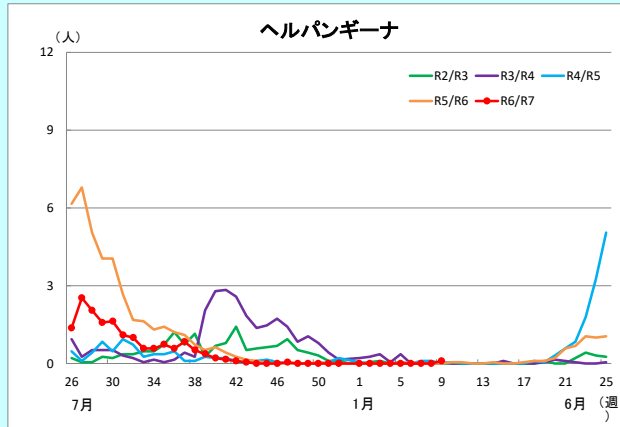
突発性発疹



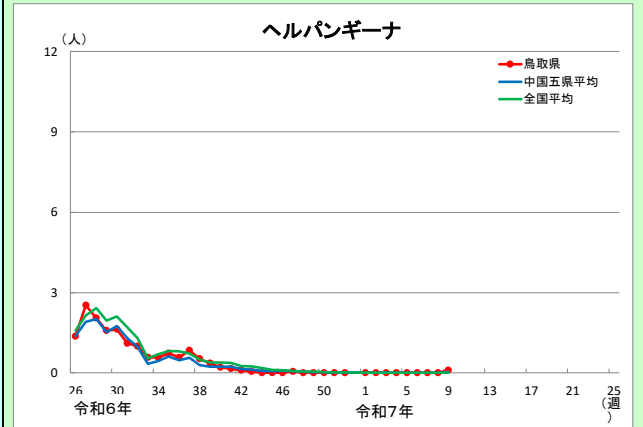
地区別発生状況(定点当たり)



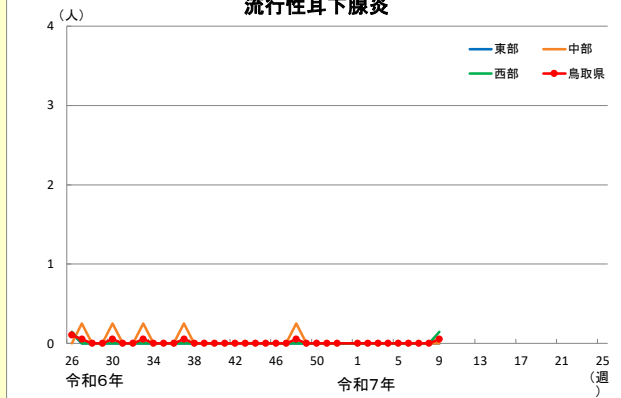
年次別発生状況(定点当たり)



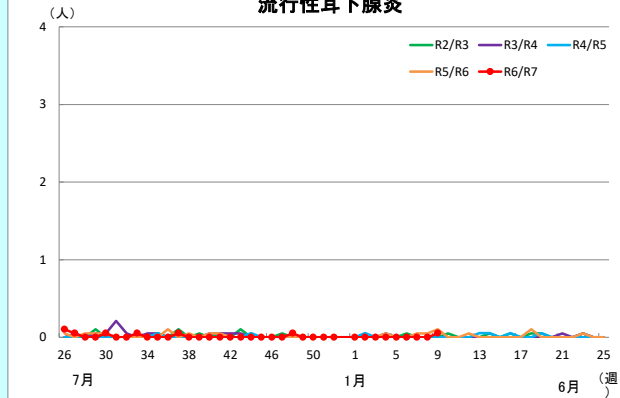
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



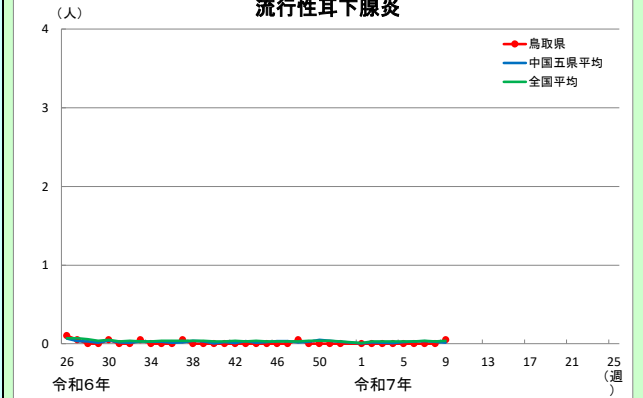
流行性耳下腺炎



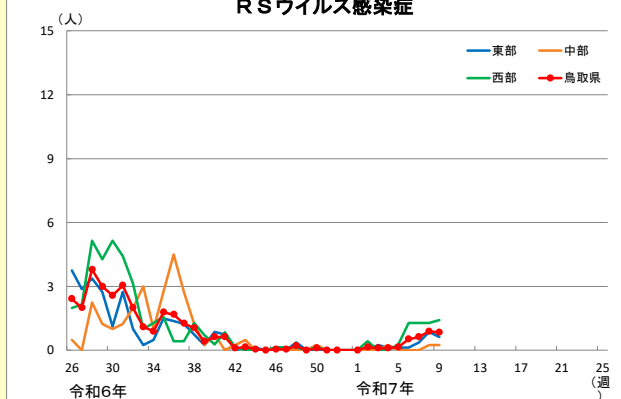
流行性耳下腺炎



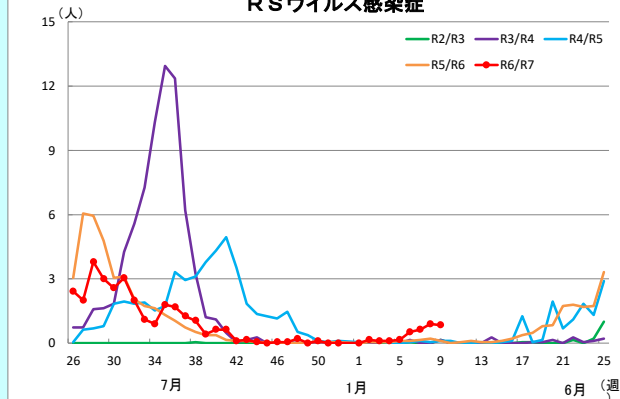
流行性耳下腺炎



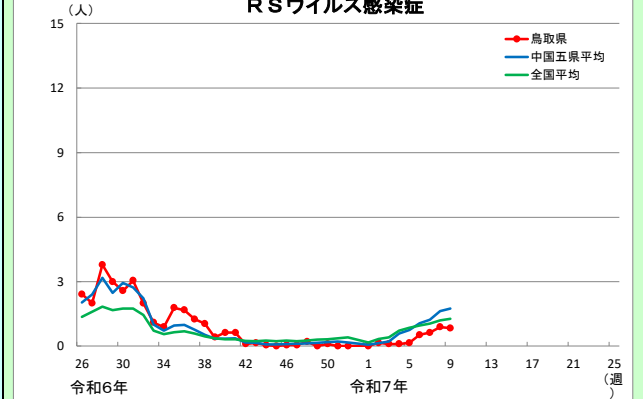
RSウイルス感染症



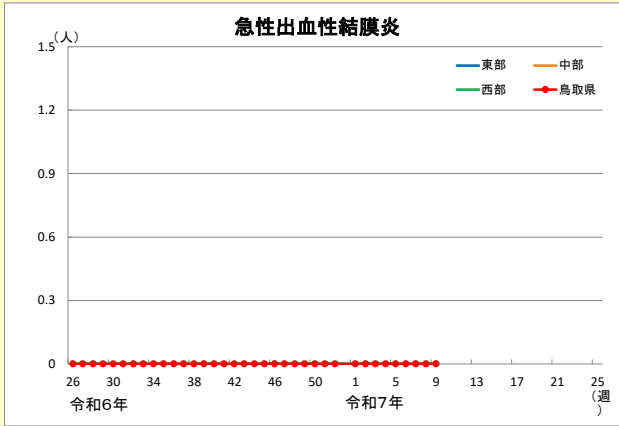
RSウイルス感染症



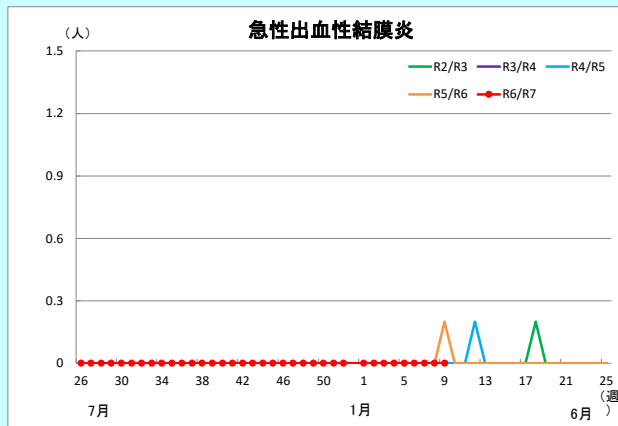
RSウイルス感染症



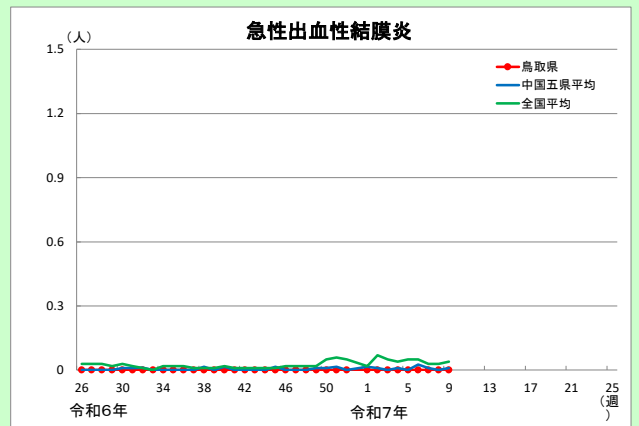
地区別発生状況(定点当たり)



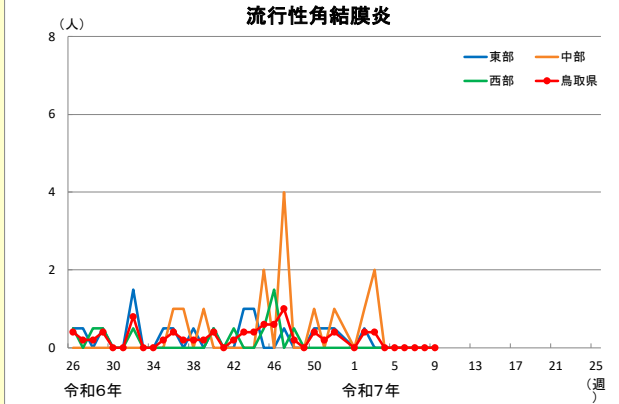
年次別発生状況(定点当たり)



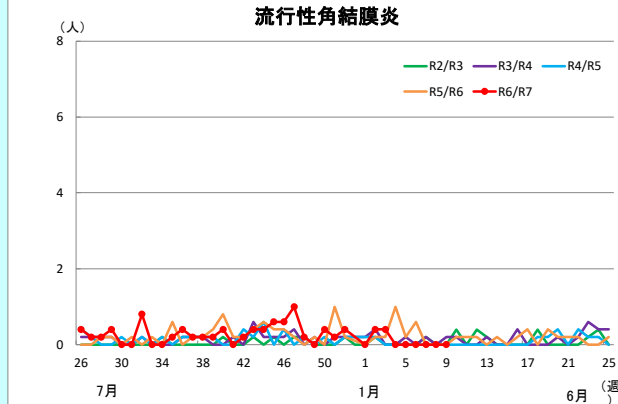
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



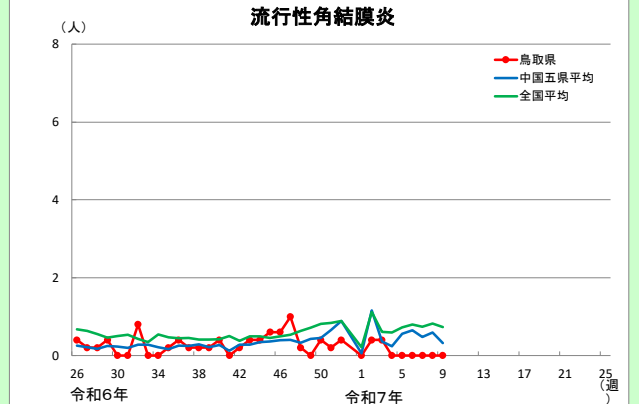
流行性角結膜炎



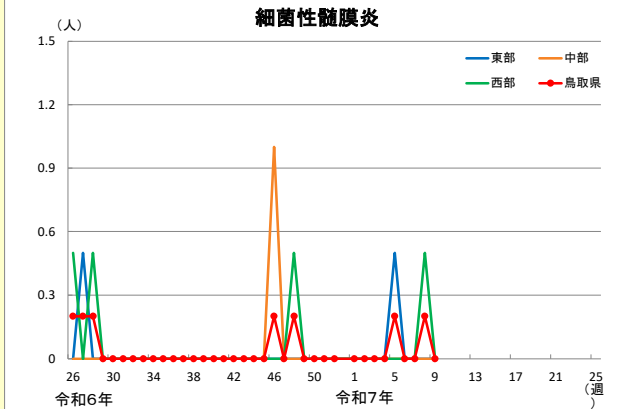
流行性角結膜炎



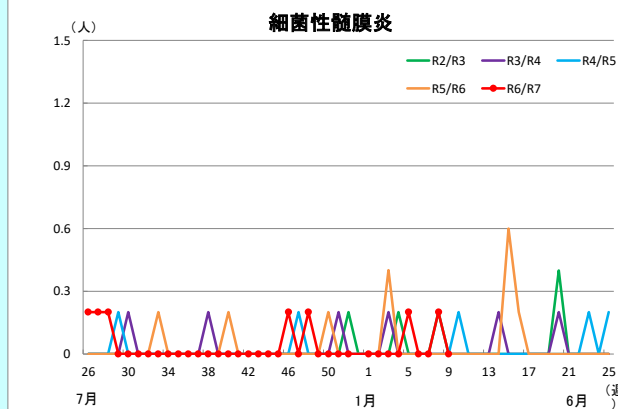
流行性角結膜炎



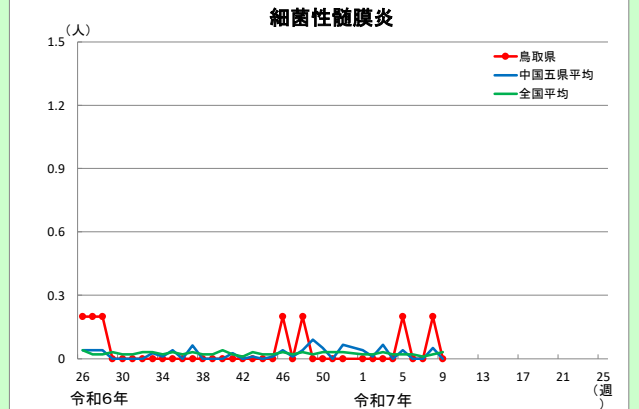
細菌性髄膜炎



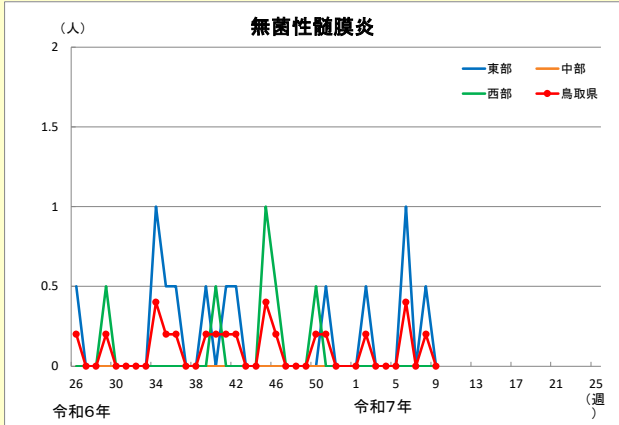
細菌性髄膜炎



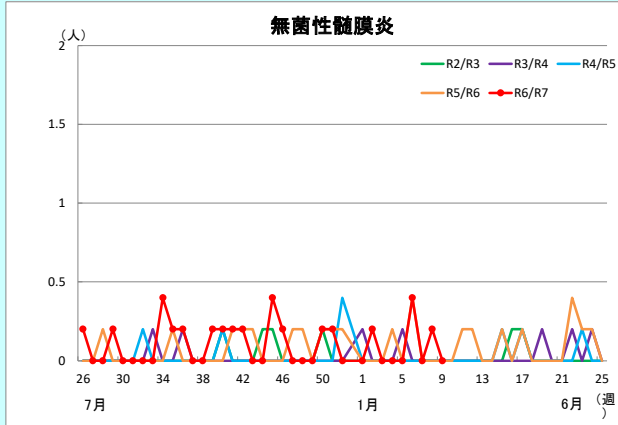
細菌性髄膜炎



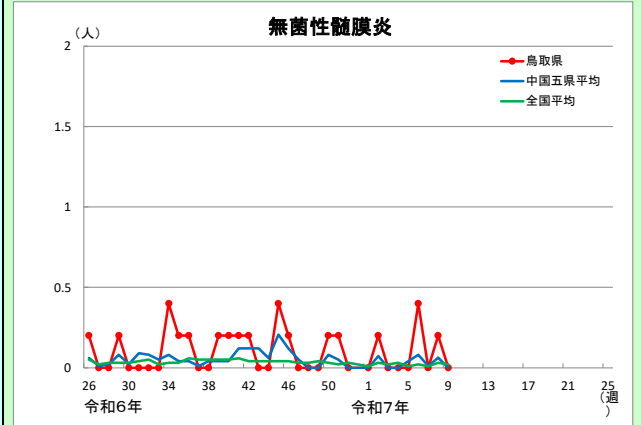
地区別発生状況(定点当たり)



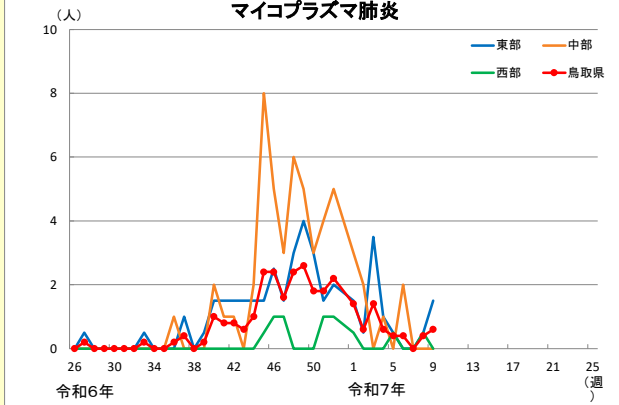
年次別発生状況(定点当たり)



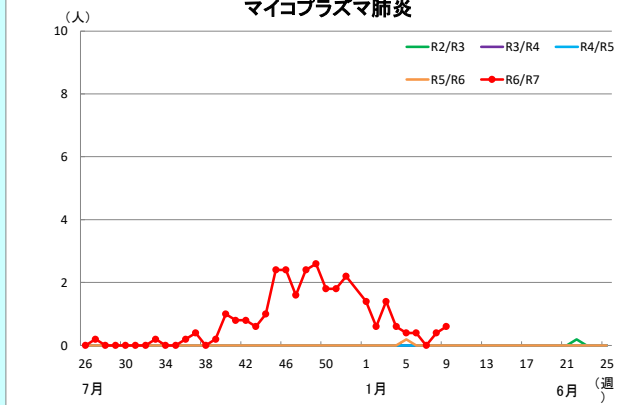
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



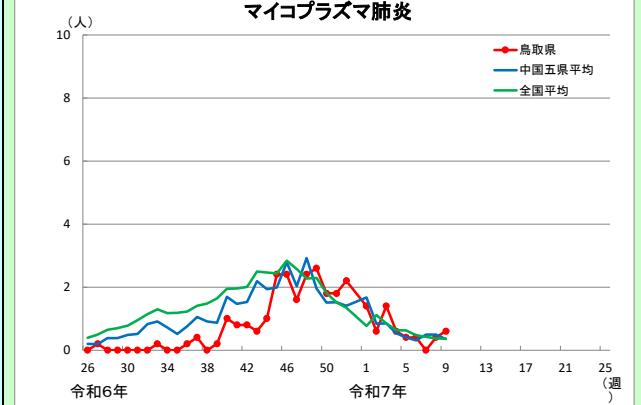
マイコプラズマ肺炎



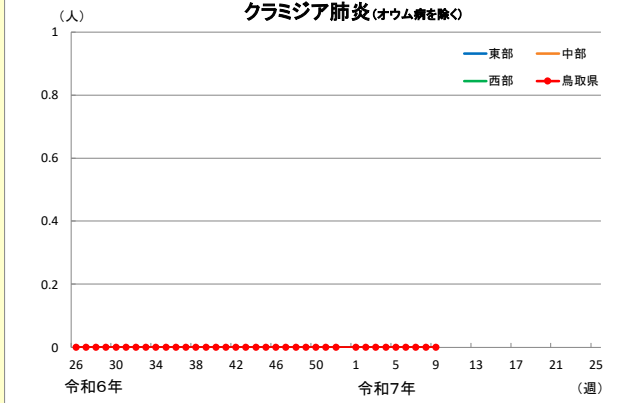
マイコプラズマ肺炎



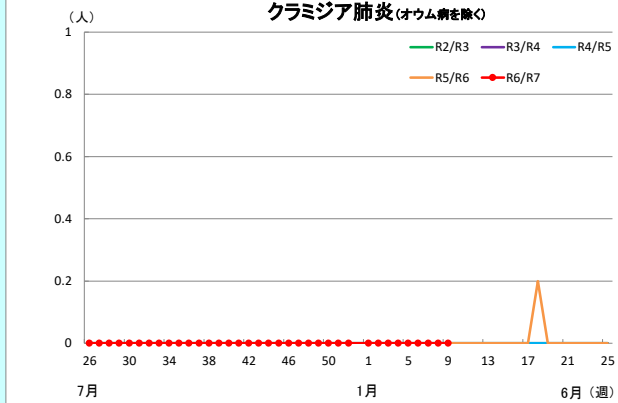
マイコプラズマ肺炎



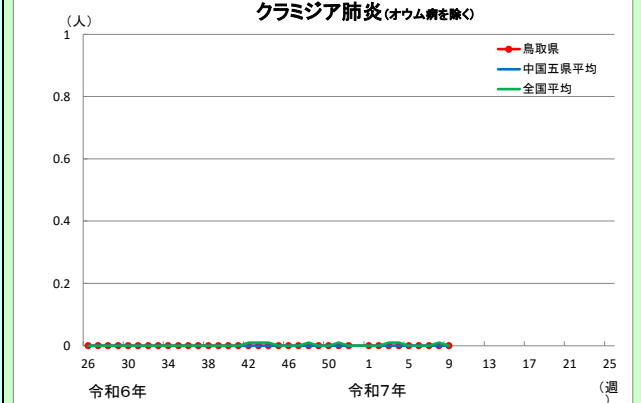
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



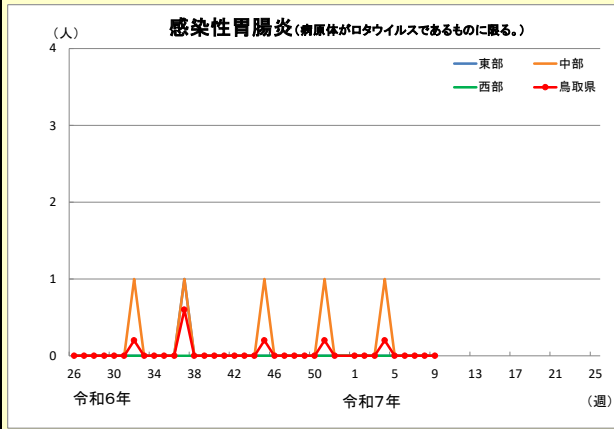
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



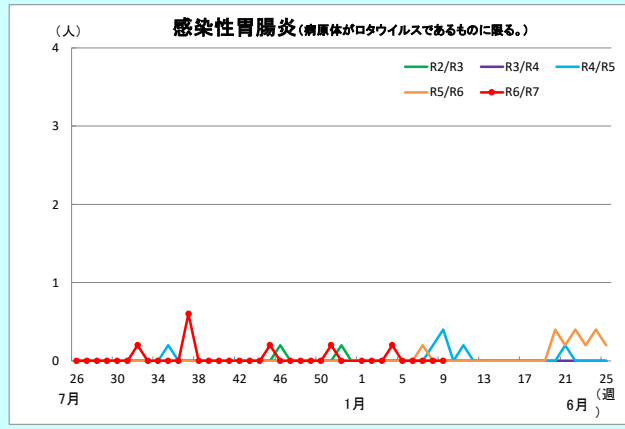
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



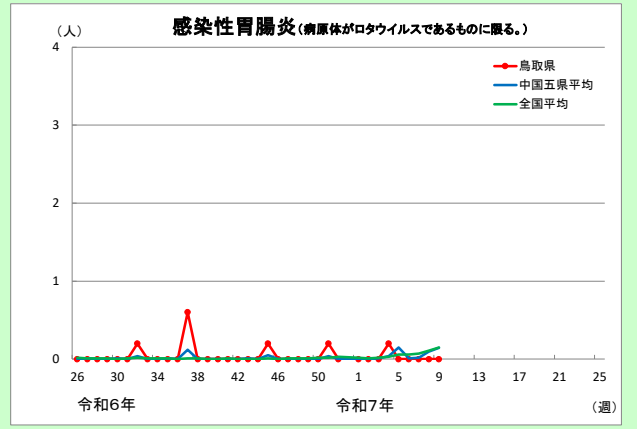
地区別発生状況(定点当たり)



年次別発生状況(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

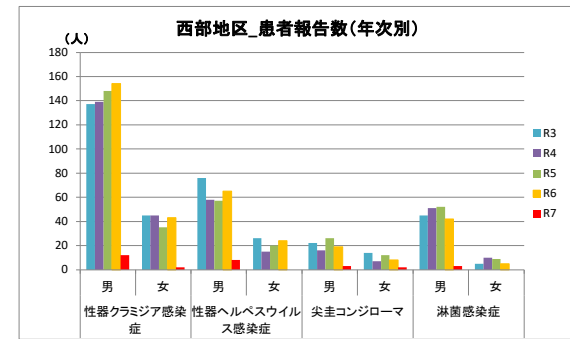
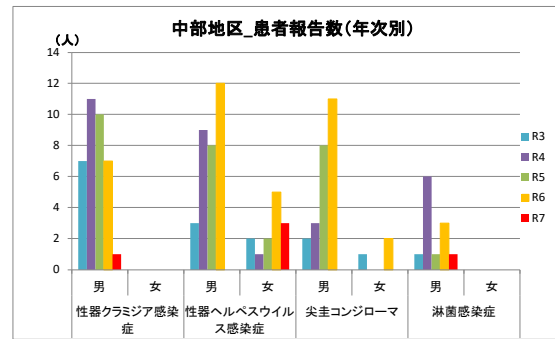
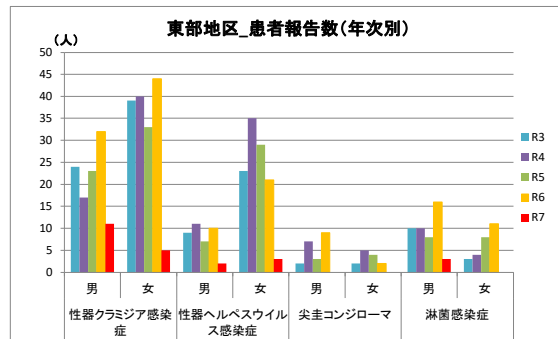
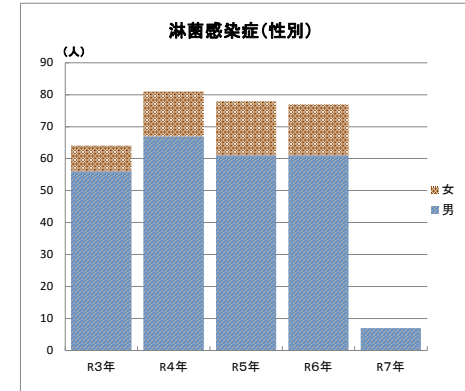
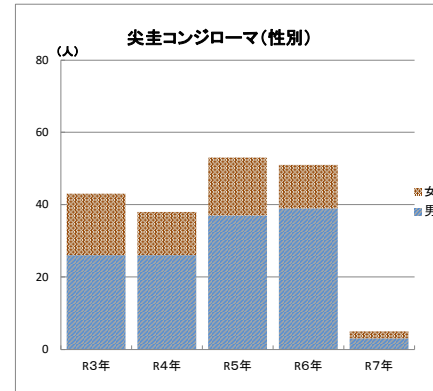
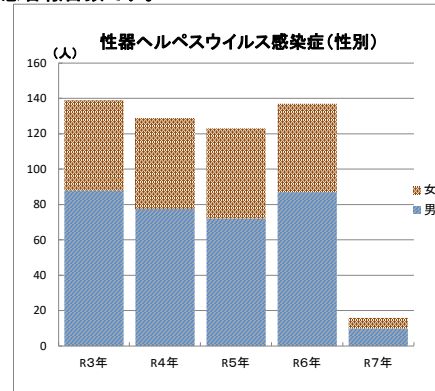
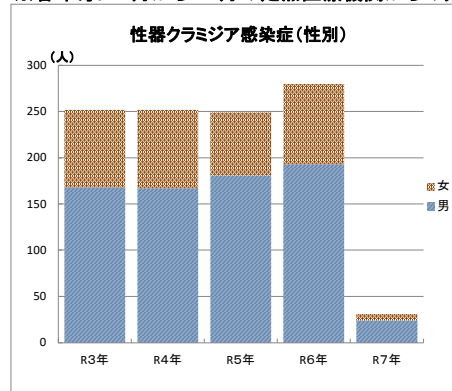
令和6年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1~12月計			対前年累計比率					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
S	性器クラミジア感染症	9	6	15	10	11	21	27	10	37	14	8	22	16	5	21	16	5	21	21	12	33	27	5	32	15	5	20	10	10	20	16	7	23	12	3	15	193	87	280	107%	128%	112%			
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	6	13	5	2	7	10	4	14	6	3	9	7	3	10	6	6	12	7	3	10	15	7	22	7	4	11	8	7	15	3	2	5	6	3	9	87	50	137	121%	98%	111%			
D	尖圭コンジローマ	7	0	7	5	2	7	2	1	3	2	3	5	3	1	4	3	2	5	2	0	2	2	0	2	6	0	6	2	2	4	0	1	1	5	0	5	39	12	51	105%	75%	96%			
7	淋菌感染症	5	3	8	11	3	14	2	1	3	8	1	9	7	2	9	7	0	7	8	1	9	5	2	7	3	0	3	1	1	2	1	1	2	3	1	4	61	16	77	100%	94%	99%			
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7	1	8	4	2	6	8	6	14	10	2	12	4	3	7	4	4	8	4	3	7	2	1	3	4	2	6	8	1	9	9	4	13	4	6	10	68	35	103	103%	83%	95%			
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	0	3	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	0	1	8	0	8	133%	0%	80%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	100%	—	100%			

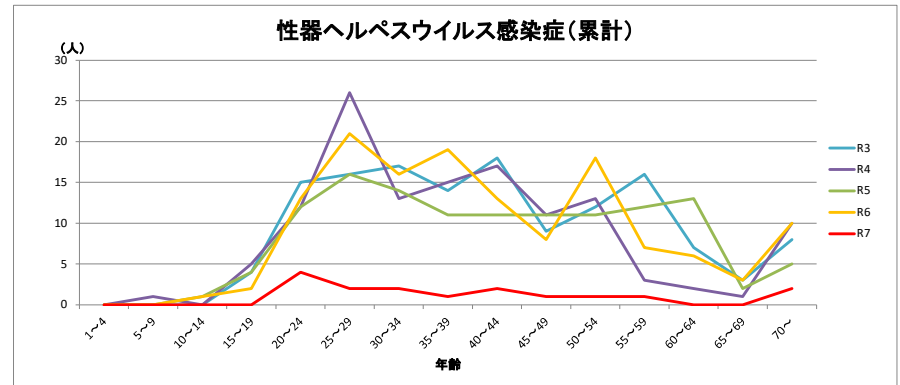
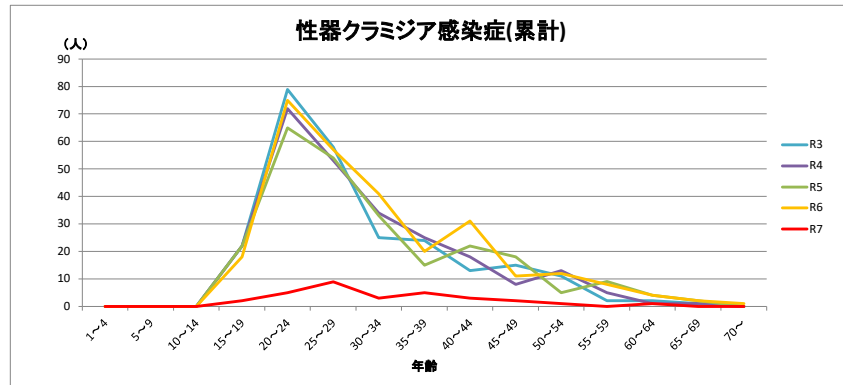
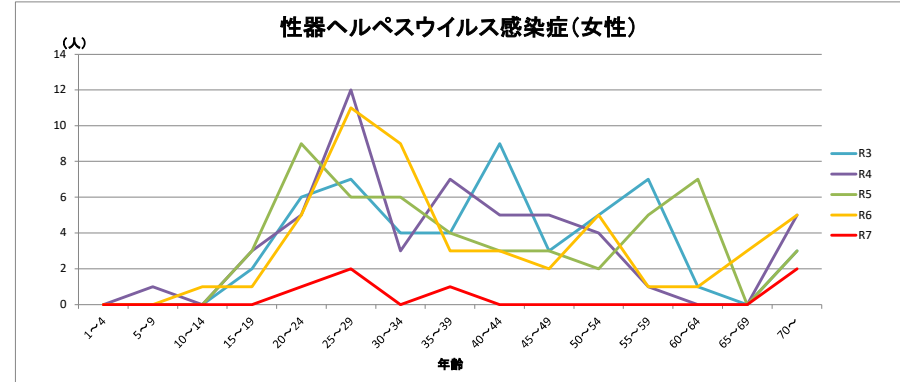
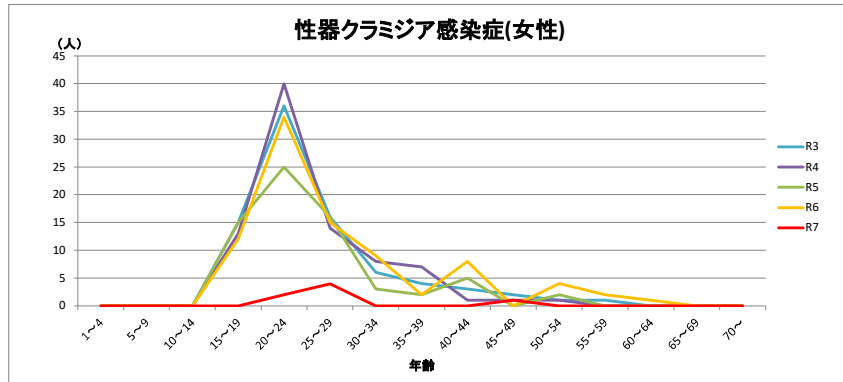
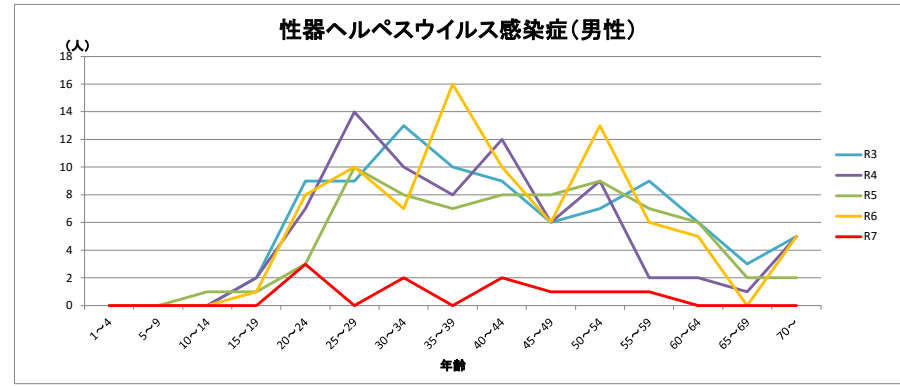
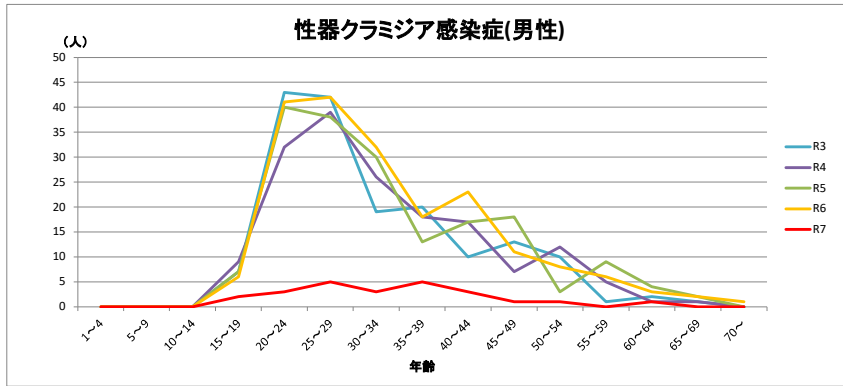
令和7年

定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			2月計			対前年2月末累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19																															24	7	31	126%	41%	86%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5																															10	6	16	83%	75%	80%
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4																															3	2	5	25%	100%	36%
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4																															7	0	7	44%	0%	32%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14																															14	7	21	127%	233%	150%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1																															2	0	2	—	—	—
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0																															0	0	0	—	—	—

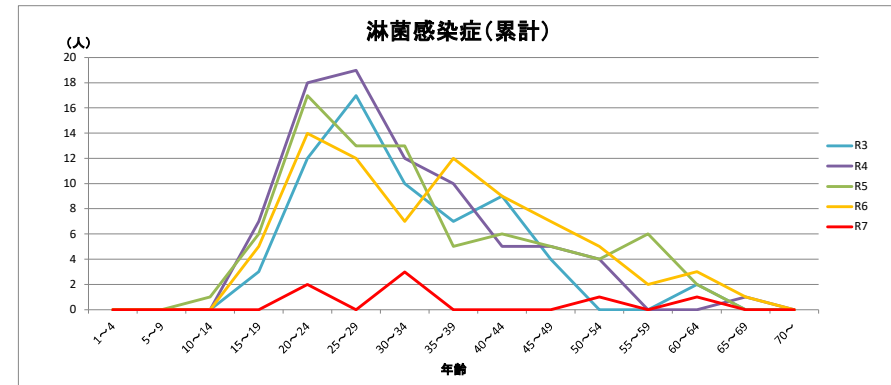
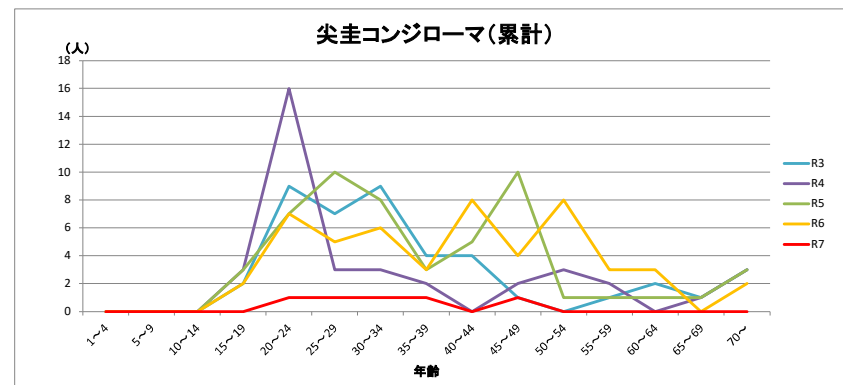
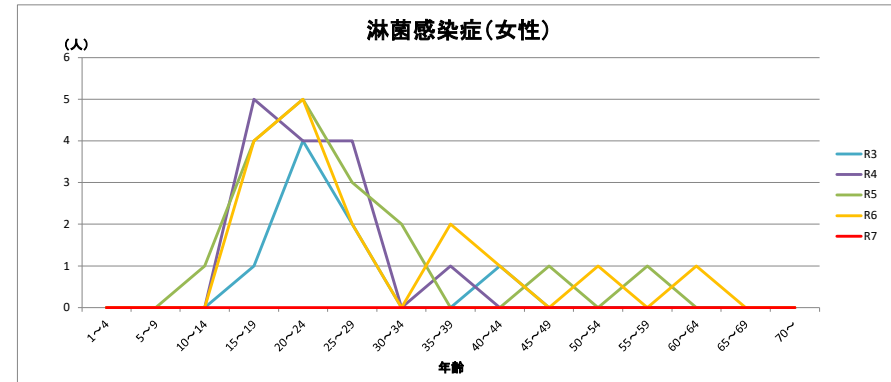
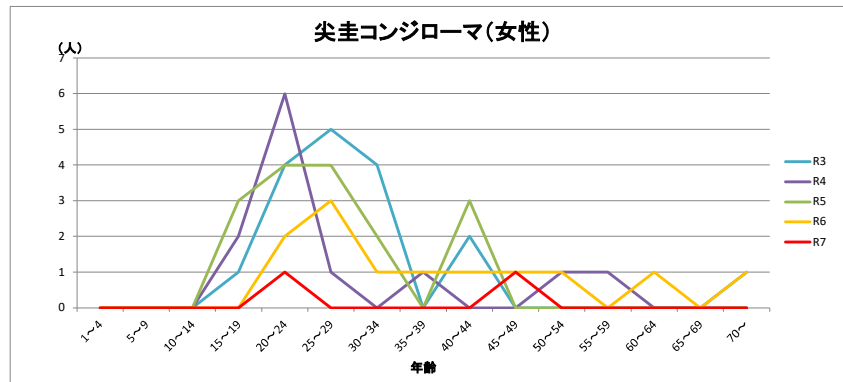
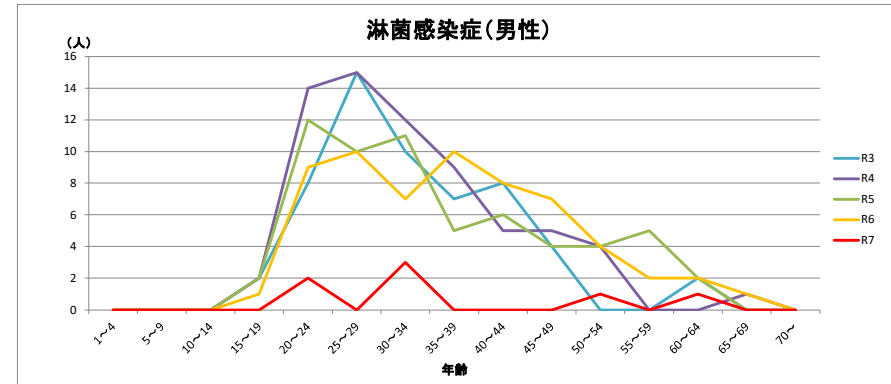
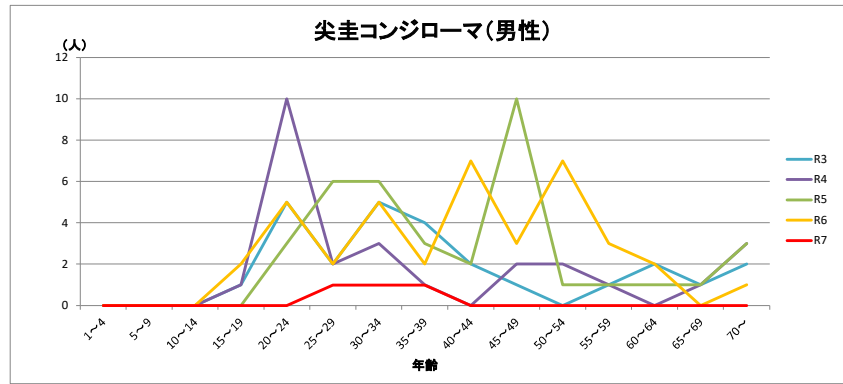
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



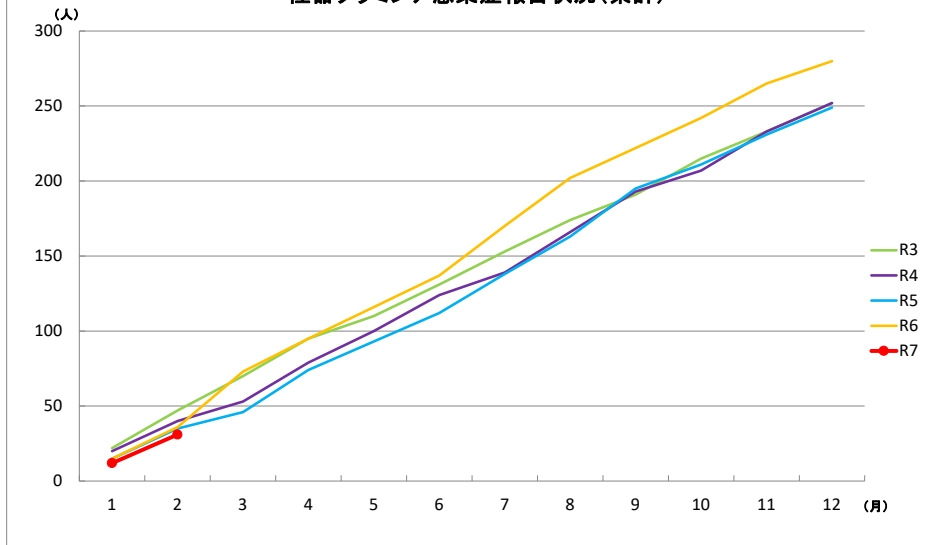
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



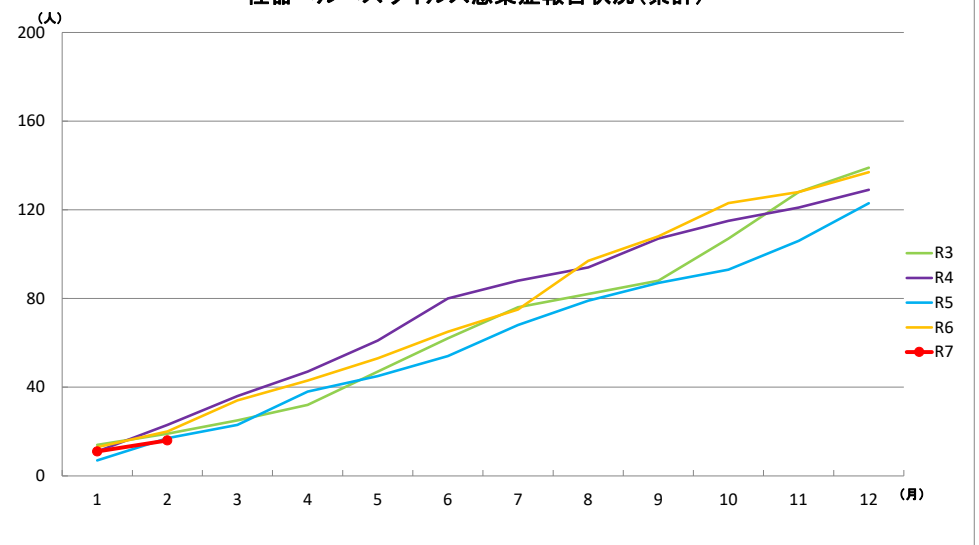
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



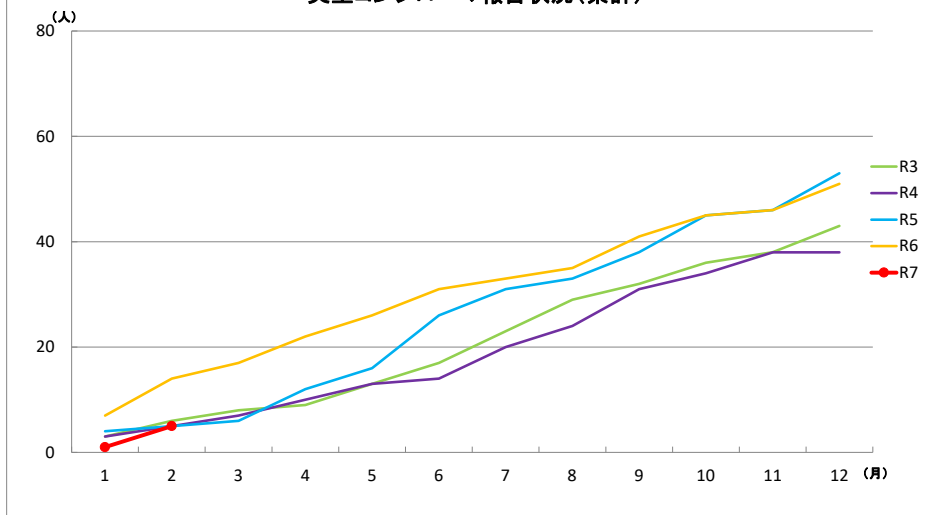
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



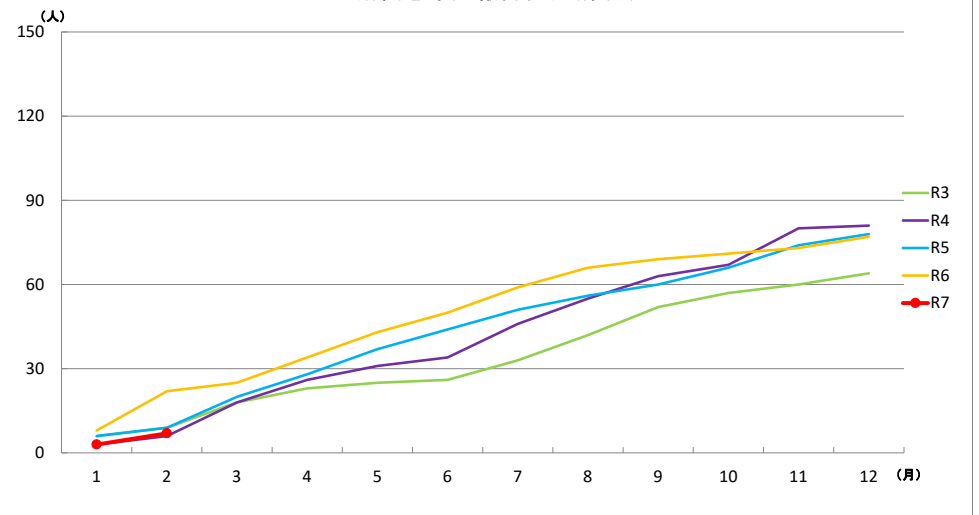
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)

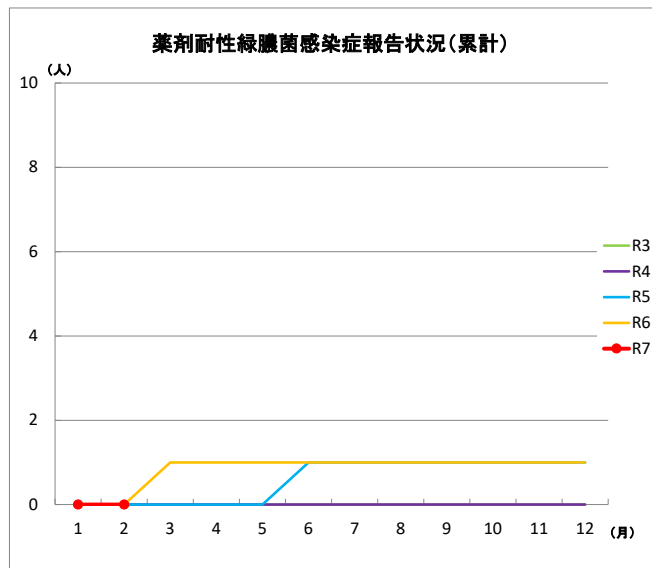
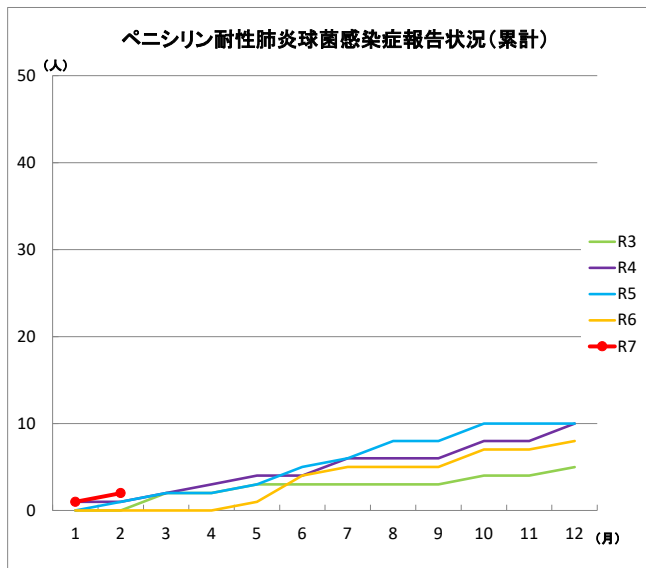
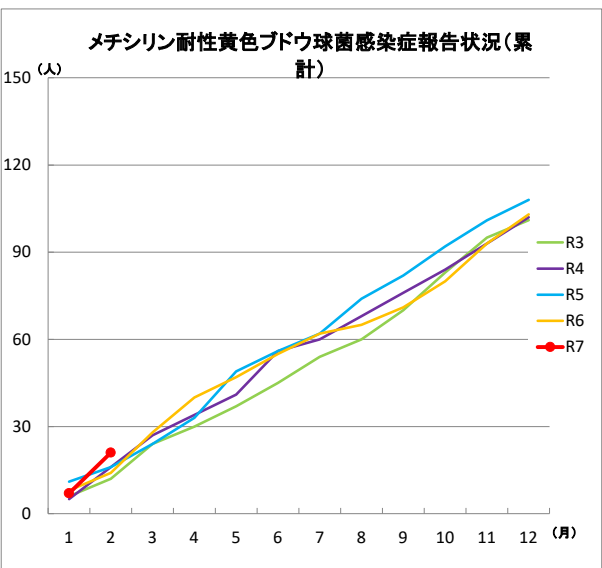
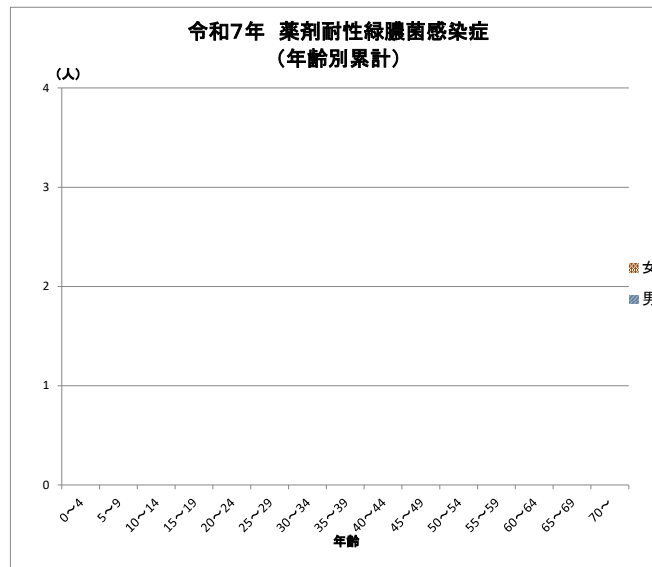
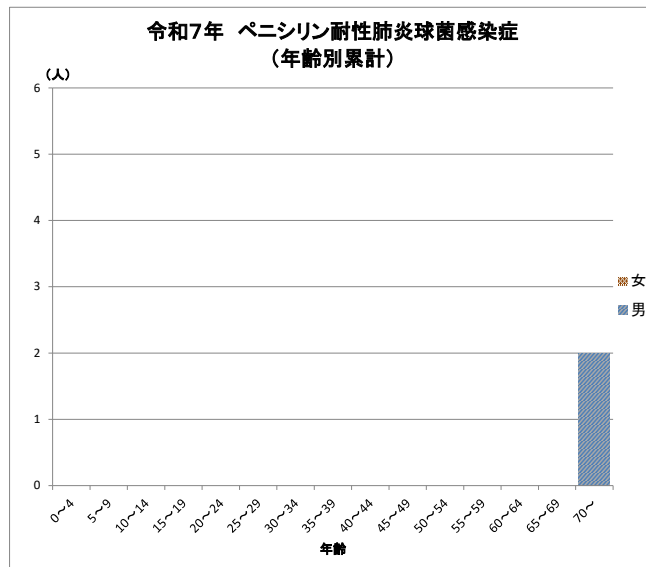
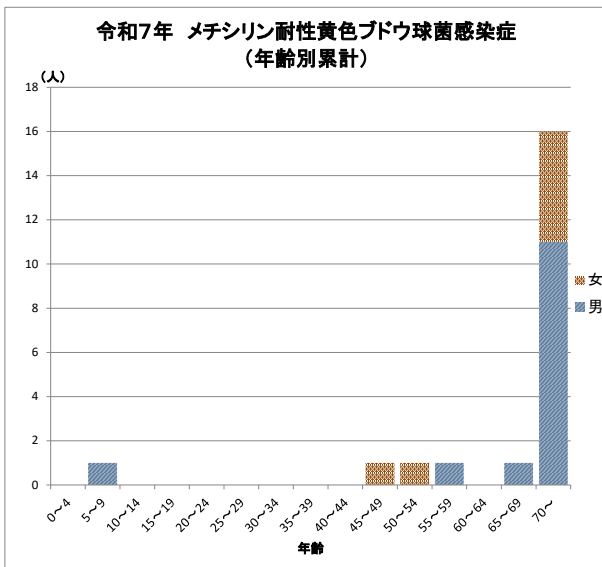


尖圭コンジローマ報告状況(累計)



淋菌感染症報告状況(累計)





鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和7年)

令和7年2月28日 現在
※()は前年数値

(1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計				
													2月時点	年間			
急性灰白髄炎														0	(0)	(0)	
結核	3	(3)	3	(2)	(5)	(6)	(3)	(6)	(1)	(7)	(5)	(2)	(5)	(5)	6	(5)	(50)
潜在性結核 ※再掲		(1)			(2)	(2)	(1)	(2)	(1)				(3)	(1)	0	(1)	(13)
疑似症患者 ※再掲															0	(0)	(0)
ジフテリア															0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群															0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群															0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)															0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)															0	(0)	(0)

(2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													2月時点	年間		
コレラ														0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲														0	(0)	(0)
細菌性赤痢														0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症			(1)	(1)		(5)	(2)	(1)	(3)	(1)	(3)	(3)	(1)	0	(1)	(21)
腸チフス														0	(0)	(0)
パラチフス														0	(0)	(0)

(3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													2月時点	年間		
マラリア														0	(0)	(0)
E型肝炎														0	(0)	(0)
A型肝炎									(1)			(1)		0	(0)	(2)
つつが虫病	1										(1)			1	(0)	(1)
日本紅斑熱					(1)		(1)	(2)	(2)	(2)				0	(0)	(8)
重症熱性血小板減少症候群						(1)			(1)					0	(0)	(2)
レジオネラ症	1	2			(2)	(1)	(1)		(1)	(1)	(2)	(1)		3	(0)	(9)
レプトスピラ症														0	(0)	(0)
デング熱														0	(0)	(0)
チクングニア熱														0	(0)	(0)

(4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													2月時点	年間		
アメーバ赤痢				(1)			(1)			(1)	(2)			0	(0)	(5)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)		1							(1)					1	(0)	(1)
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)														0	(0)	(0)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	1	(1)	1		(1)					(1)		(3)		2	(1)	(6)
クリプトスポリジウム症														0	(0)	(0)
クロイツフェルト・ヤコブ病			(1)											0	(0)	(1)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	(3)		(2)	(1)			(1)		(3)	(1)			1	(3)	(11)
後天性免疫不全症候群									(1)					0	(0)	(1)
無症候性キャリア ※再掲														0	(0)	(0)
AIDS ※再掲									(1)					0	(0)	(1)
侵襲性インフルエンザ菌感染症			(1)			(1)					(1)			0	(0)	(3)
侵襲性髄膜炎菌感染症														0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	5	(1)	1	(2)	(3)	(3)		(1)		(1)	(1)	(1)		6	(1)	(13)
水痘(入院例に限る。)					(1)		(1)							0	(0)	(2)
梅毒	9	(2)	2	(5)	(1)	(2)	(2)	(5)	(7)	(6)	(2)	(5)	(2)	11	(7)	(41)
播種性クリプトコックス症	1	1		(1)										2	(0)	(1)
破傷風								(1)						0	(0)	(1)
薬剤耐性アシネトバクター感染症														0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症				(1)	(2)					(1)				0	(0)	(4)
ジアルジア症														0	(0)	(0)
百日咳	28	(5)	44	(6)	(2)	(1)	(1)	(7)	(37)	(55)	(54)	(113)	(59)	72	(11)	(383)
麻疹														0	(0)	(0)
風しん														0	(0)	(0)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計					
													2月時点	年間				
令和7年													0	(0)	0	(0)		
令和6年		1	1		5	(2)	2	(1)	1	(1)	3	1	(1)	3	(1)	3	1	
令和5年						1			5	9	(3)	2	(2)			2	(1)	
令和4年		2	(2)				1		2		3			3	(1)	3		
令和3年	1		3	(2)	1	(1)	2	(1)	2	(1)	1	(1)				1	(0)	
令和2年			1		2	(1)	7	(1)	2		3	(2)	7	(4)	3	(1)	1	
令和元年		1	1	(1)	6	(1)	1		2		4	(1)	3	(2)	4	2	(2)	
平成30年					3		1		4	(2)	9		4		1			
平成29年	1	(1)			1	(1)	7	(3)	5	(2)	1				4	(3)	1	(1)
平成28年						5	(4)	3	(1)	6	(1)	1			1	(1)	0	(0)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計		
令和7年																0	(0)	
令和6年		1		2	(2)			2					1	(1)	13	(1)	2	(2)
令和5年		1	(1)												17	(4)	1	(1)
令和4年						3							2	(2)	8		1	(1)
令和3年						4	(2)						1	(1)	3	(1)	2	(2)
令和2年	1	4	(2)	1		4	(2)	3	(1)		1	(1)	1		1	(1)	7	
令和元年						3	(1)	4	(1)						15	(3)	2	(2)
平成30年		2				3							1		16	(2)		
平成29年		1				2	(1)	4	(3)				1	(1)	10	(3)	3	(3)
平成28年		1	(1)												14	(5)	1	(1)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計						
令和7年												0	(0)					
令和6年	3	3	1	3	(2)	5	(1)	2	(1)	1	(1)	2	(1)	1		21	(6)	
令和5年	1	2	(1)	1	1	4	(1)	2	(1)	4	(3)	2			2		19	(6)
令和4年	5	1	2	1	1	2	(1)				2	(2)					14	(3)
令和3年	1		1	(1)		1	(1)		1	(1)	1	(1)	3	(2)	2		10	(6)
令和2年	7	2	2	2	1	(1)	4	(4)	3	(1)	3	(3)			2		26	(9)
令和元年	9	(2)	2			4	(3)	2		1	(1)	3	(1)	3			24	(7)
平成30年	2	2				10	(1)	3	(1)	1		2		1			22	(2)
平成29年	3	(1)	1	2	(1)	2	(1)	2	(2)	2	(2)	4	(3)	4	(1)		21	(11)
平成28年	4	4	(3)		1	2	(1)	3	(2)	1	(1)				1		16	(7)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計	
令和7年				0	(0)
令和6年	2	(1)	6	13	(5)
令和5年	3	(1)	7	9	(4)
令和4年	5	(1)	6	3	(2)
令和3年	4	(2)	3	3	(2)
令和2年	3		15	8	(4)
令和元年	6	(2)	14	4	(1)
平成30年	7		5	10	(2)
平成29年	1		8	12	(7)
平成28年	2	(1)	12	2	(1)

鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年2月検出分 検体採取 令和7年1,2月)

令和7年3月14日
鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体3件（検体採取1月下旬、2月上旬・中旬）について検査を実施したところ、A(H1)pdm09が3件から検出された。

表1 2024/2025 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A(H1)pdm09	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2024	9月3日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月14日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月15日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月27日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月2日	中部	2	2	0	0	0	0	
	12月3日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月9日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月16日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月18日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月19日	東部	1	1	0	0	0	0	
	12月20日	東部	1	1	0	0	0	0	
	12月20日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月23日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月24日	東部	1	1	0	0	0	0	
12月24日	中部	1	1	0	0	0	0		
2025	1月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月15日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月16日	中部	1	1	0	0	0	0	
	1月21日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月27日	西部	1	1	0	0	0	0	
	2月5日	西部	1	1	0	0	0	0	
	2月12日	西部	1	1	0	0	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2024/9/2~現在)			25	25	0	0	0	0	

国立感染症研究所の病原微生物検出情報（3月7日作成）によると、全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、2024/25 シーズンはA(H1)pdm09型が最も多く検出されており、次いでA(H3)型が検出されている。

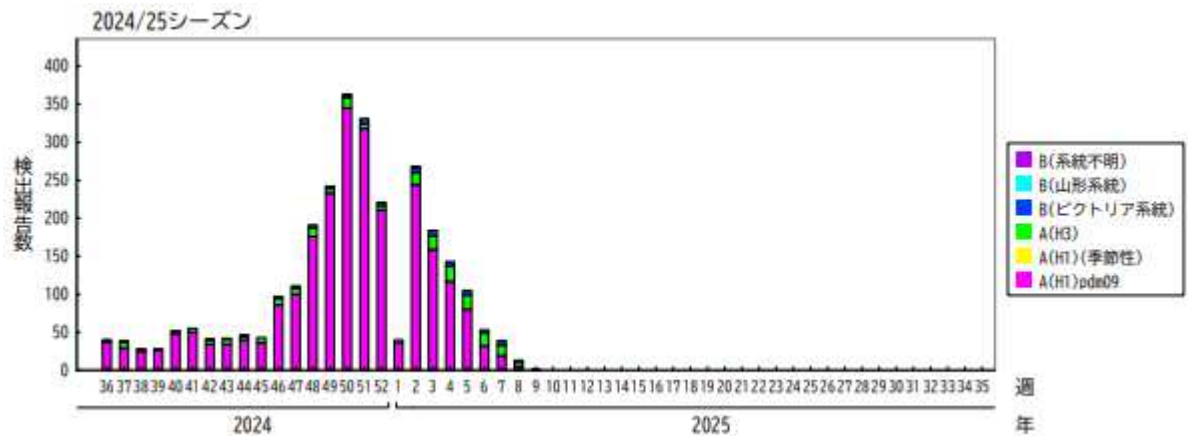


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2024/25 シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2025年3月7日作成）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の4件について検査を行ったところ、サポウイルスが2件検出された。他の2件からはノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、アデノウイルス（40/41型）及びアストロウイルスいずれも検出されなかった。

3 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎（疑）の1件について検査を行ったところ、アデノウイルスは検出されなかった。

4 急性出血性結膜炎

臨床診断名が急性出血性結膜炎の検体1件について検査を行ったところ、エンテロウイルスは検出されなかった。

新型コロナウイルスゲノム解析結果

令和7年3月14日
鳥取県衛生環境研究所

- 検体搬入日：2025年3月5日（水）（検体採取日：2月3日～3月4日）
- 解析件数：40件（搬入件数：40件）
- 結果概要：XEC系統（KS.1.1とKP.3.3の組換系統）：22件（65%）（解析不能は計算から除外）
KP.3系統（JN.1亜系統）：7件（21%）

表1 鳥取県新型コロナウイルスゲノム解析結果（2月38検体、3月2検体）

系統	Lineage (pangolon)	件数	備考	前回の検出数
KP.3系統	KP.3.1系統	3	JN.1の亜系統 KP.3.1系統には子孫系統のMC系統を含む	12
	KP.3.3系統	4	KP.3.3系統には子孫系統のPB系統を含む	5
KP系統（KP.3以外）	KP.1系統	0	子孫系統のLP系統を含む	2
組換系統	XEC系統	22	KS.1.1とKP.3.3の組換系統	26
	XEK	1	KP.2.3とXECの組換系統	0
	XEV	4	KP3.3.1とXEC.18の組換系統	0
JN.1系統	LF.7.3.1	0	JN.1.16.1の子孫系統	1
	解析不能	6		9
	合計	40		55

※赤字の系統：現在流行中の注目すべき変異株（VOIs）（WHO指定）（2024.12.2更新）→JN.1系統

※青字の系統：現在流行中の監視下の変異株（VUMs）（WHO指定）（2025.2.3更新）→KP.2, KP.3, KP.3.1.1, JN.1.18, LB.1, XEC, LP.8.1

ゲノム解析結果の推移(月別)

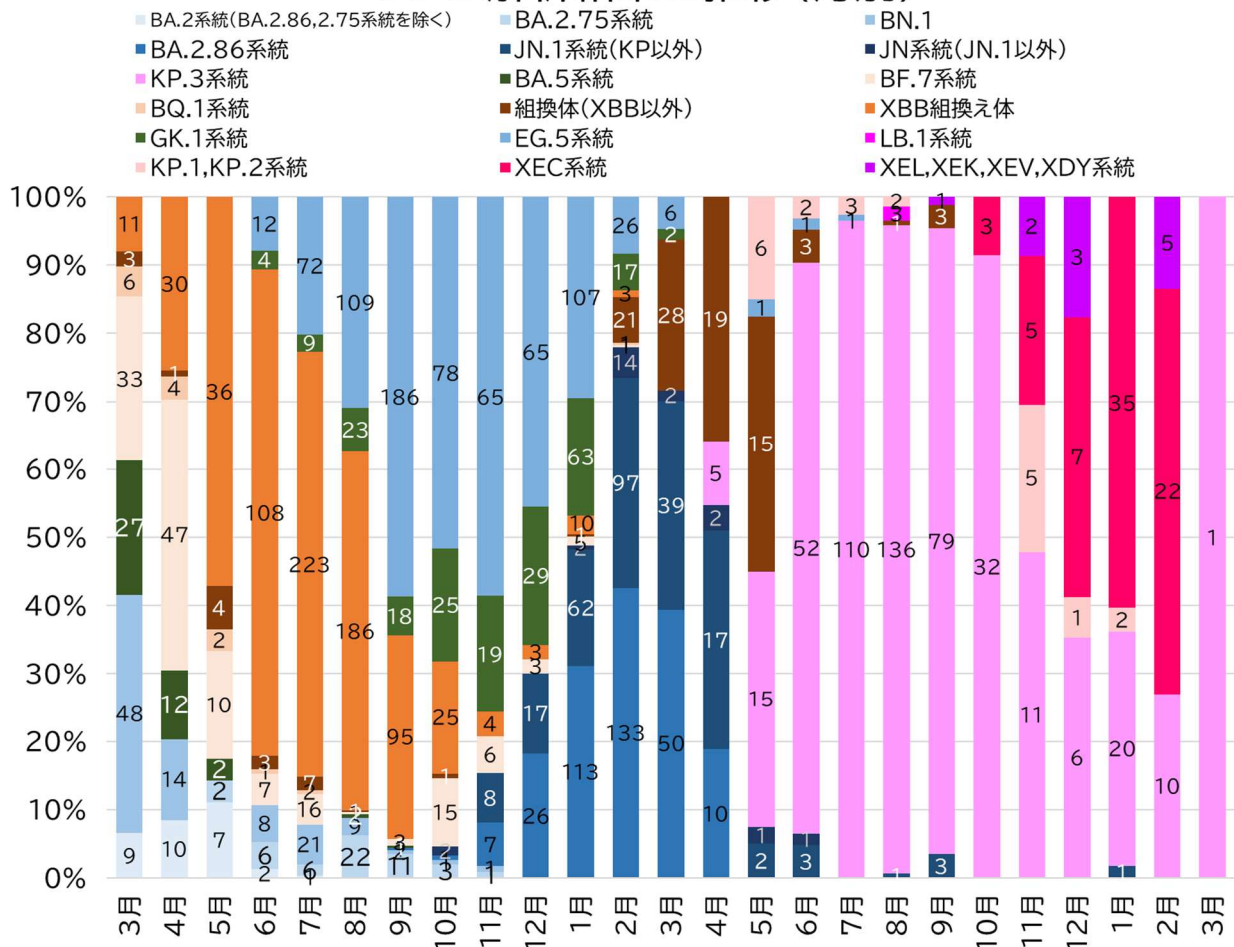


図1 月別新型コロナウイルスゲノム解析結果（2023/24/25シーズン）

